

## 《競技規則と注意事項》



- (1) 選手・役員以外は競技場内への立ち入りは禁止とする。
- (2) 競技を行う場合、選手は競技服装とする。
- (3) 大会運営や審判の判定などにクレームまたは抗議、批判などは一切禁止とする。
- (4) 年齢制限のある競技については大会当日の満年齢とし、違反があれば失格とする。ただし、中学校を卒業した15歳の方は16歳として取り扱う。
- (5) 小学5年生以上はスパイク使用可能。(ピンは9mm以下の平行ピンとし、走高跳のみ12mm以下の平行ピン)
- (6) 小学生はスターティングブロックを使用しないものとする。
- (7) トラック競技の選手招集場所は100mスタート外側付近とする。  
フィールド競技の選手招集場所は各競技場所とする。  
選手招集の放送は行わないので、招集時間に注意し招集時刻(競技時刻の20分前~10分前)に各選手招集場所で必ず点呼(コール)を受けること。なお、招集時刻が過ぎれば棄権とみなす。
- (8) トラック競技とフィールド競技が重なる場合は、原則としてトラック競技を優先するが、フィールド競技の係員に申告し指示に従うこと。
- (9) トラック競技出場者は点呼(コール)時にナンバーカードを受け取り、必ず右腰に付けること。(足等に付けない)  
※1500m・3000mは両腰に、リレー出場者は全員が右腰に付けること。  
※走幅跳及び走高跳の出場者は点呼(コール)時にナンバーカードを受け取り、胸に付けること。
- (10) スタートについて  
「On your marks」または「Set」のアナウンスの後、ピストルの合図で出発する。
- (11) 2回目以降にフライング(不正出発)をした者は失格とし、記録は全てタイムレースで順位を決定する。(同順位あり)
- (12) フィールド競技の競技方法は次の通りとし、ファール時の計測は行わない。

○走幅跳・・・3回跳び、一番良い記録とする。

※走幅跳の順位決定方法は、最高記録が同じである場合、2番目の記録が良い方を勝者とする。それでも同記録の場合は3番目の記録で決め、それでも同記録の場合は同順位とする。

○走高跳・・・3回続けて失敗すると次の高さを試技できない。

・小学生女子は80cm、小学生男子は90cmから、中学生女子は100cm、中学生男子以上は110cmからスタートし、5cm毎にバーを上げる。

・小学生の背面跳びは禁止とする。

※走高跳の順位決定方法は、最高記録が同じである場合、最後に越えた高さで試技数の少ない方を勝者とする。それでも同記録の場合は、それまで全ての試技のうち、無効試技数が少なかった方を勝者とし、それでも同記録の場合は同順位とする。

(13) リレーの選手に変更がある場合、大会にエントリーしている選手であれば2名まで変更できる。変更する場合、選手招集場所にてオーダー変更届を受け取り、リレー招集時刻開始の1時間前までに選手招集場所にいる係員に提出すること。なお、選手変更をした場合でも部門の変更はできない。

※走順のみの変更は、オーダー変更届の提出は不要。点呼（コール）時に係員へ走順を申し出ること。

(14) ウォーミングアップ・練習について

競技中はトラックの使用を禁止とする。ただし、9時（開門後）から9時35分までトラックを使用可とし、50mと100mの競技中のみバックストレート側の走路を使用可とする。

フィールド競技は、競技時刻の30分前をめどに練習可とする。

※開会式前は会場準備中のため競技役員の指示に従うこと。

※接触事故やケガ等に十分に気を付けること。

(15) その他、競技に関しては、日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に基づいて行う。

(16) 競技中の負傷については、主催者側で応急処置を行うが、その後の治療については個人負担とする。

